



親子



冬毛のエゾリス



水の中から



シマエナガ



水の中

年に1回通信もお届けいたします
会員募集 年会費1000円

郵便振替口座02730-3-20099
網走湖・水と緑の会

網走湖・水と緑の会 2020年6月

呼人水芭蕉通信16号

会長 清水晶子 通信編集 清水敦 写真 佐藤正博 他
網走市呼人187-1 森の家内 tel/fax 0152-48-2223

貴重な街なかの自然と景観
をいつまでも

皆様いかがお過ごしでしょうか。新緑の気持ちの良い季節になりました。水芭蕉通信16号をお届けいたします。

いま、世界中がコロナウイルスで騒然としており、自粛のため春の手入れはできませんでしたが、呼人の水芭蕉は今年もしっかり咲きました。保全地を始め探鳥遊歩道や呼人浦の葦原の様子をお届けいたします。

昨年保全地の水芭蕉増殖のため種の採集と栽培を試みたところ、種の採集の時期（8月）がおそく失敗してしまいました。今年は早めに行いました。しかし水を通したところは確実に新しい芽が出ています（歩道下の水たまり）。保全地の乾燥化を防ぎ保水性を高めることが今後なよりの課題です。

網走ではどこにでもあたりまえのように水芭蕉が自生しています。陸と水の境目の湿地が生き物にとって大切な場所であることを自覚して保全活動を続けていきたいと思っています。
文責 清水敦



走り根の中



橋の板



キキロヘシロ



水たまりに新しい芽



呼人の水芭蕉はヤチダモとヤチハシノキの林にあります

2020/05/01

2020/05/01

2020/05/01